

## 指定共同生活援助事業所（グループホーム）の実態調査 調査結果【概要】

### 1 調査要旨

障害者の高齢化，重度化や家族が亡くなった後等も地域での安心な生活を支えるため，生活の場の選択肢の1つである指定共同生活援助事業所の実態を把握し，問題点や必要な施策を整理するために調査を行った。

具体的には，（1）法人名等，（2）サービスの類型，（3）職員の人数，（4）利用者数，（5）運営状況，（6）退去者の状況，（7）新規入居者の状況，（8）その他の8項目について調査を行った。

### 2 調査対象

宮城県内に所在する指定共同生活援助事業所 178事業所

### 3 調査基準日

令和3年12月1日現在

### 4 調査方法

指定共同生活援助事業所を運営する法人宛てに電子メールで回答様式を送付し，事業所単位で電子メールにより回答を得た。

### 5 回答期間

令和3年12月17日から令和4年1月11日まで

### 6 有効回答数

123事業所（回収率69.1%）

※ 本報告における「圏域」とは、「みやぎ障害者プラン」で定める障害保健福祉圏域を基本とした次の8圏域をいいます。

圏域	構成市町村
仙南	白石市, 角田市, 蔵王町, 七ヶ宿町, 大河原町, 村田町, 柴田町, 川崎町, 丸森町
仙台市	仙台市
仙台	塩竈市, 名取市, 多賀城市, 岩沼市, 富谷市, 亶理町, 山元町, 松島町, 七ヶ浜町, 利府町, 大和町, 大郷町, 大衡村
大崎	大崎市, 色麻町, 加美町, 涌谷町, 美里町
栗原	栗原市
登米	登米市
石巻	石巻市, 東松島市, 女川町
気仙沼	気仙沼市, 南三陸町

※ 本報告における「全国」とは、公益財団法人日本知的障害者福祉協会が実施した「令和2年度全国グループホーム実態調査報告」の数値を引用しています。( <http://www.aigo.or.jp/choken/pdf/r2gh1.pdf>, 調査基準日：令和2年4月1日現在)

問1 回答事業所数(n=123)

(単位:事業所)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
回答数	14	61	19	7	4	5	8	5	123

問2-1 ホーム数, 総定員数, 利用者数 (n=123)

ホーム数

(単位: 戸)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	(参考)全国
介護サービス包括型	47 (10.4%)	215 (47.8%)	50 (11.1%)	19 (4.2%)	7 (1.6%)	36 (8.0%)	49 (10.9%)	4 (0.9%)	427 (94.9%)	4,753 (85.8%)
外部サービス利用型	5 (1.1%)	8 (1.8%)	2 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)	17 (3.8%)	393 (7.1%)
日中サービス支援型	1 (0.2%)	4 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (1.3%)	119 (2.1%)
計	53 (11.8%)	227 (50.4%)	52 (11.6%)	20 (4.4%)	7 (1.6%)	36 (8.0%)	49 (10.9%)	6 (1.3%)	450 (100.0%)	5,265 (100.0%)

総定員数

(単位: 人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
介護サービス包括型	229 (87.7%)	1,090 (94.0%)	275 (97.2%)	84 (94.4%)	42 (100.0%)	175 (100.0%)	296 (100.0%)	22 (64.7%)	2,213 (94.6%)
外部サービス利用型	27 (10.3%)	37 (3.2%)	8 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (35.3%)	84 (3.6%)
日中サービス支援型	5 (1.9%)	33 (2.8%)	0 (0.0%)	5 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	43 (1.8%)
計	261 (11.2%)	1,160 (49.6%)	283 (12.1%)	89 (3.8%)	42 (1.8%)	175 (7.5%)	296 (12.6%)	34 (1.5%)	2,340 (100.0%)

利用者数

(単位: 人)

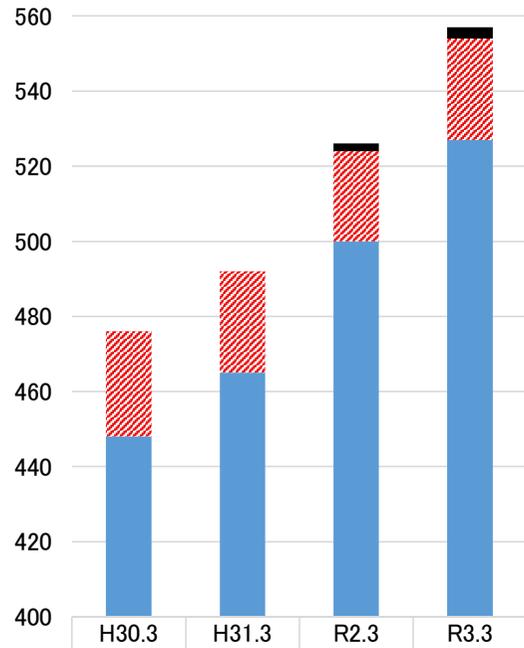
	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
介護サービス包括型	209 (88.6%)	1,013 (94.5%)	247 (98.4%)	81 (94.2%)	40 (100.0%)	164 (100.0%)	277 (100.0%)	22 (71.0%)	2,053 (95.2%)
外部サービス利用型	22 (9.3%)	32 (3.0%)	4 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (29.0%)	67 (3.1%)
日中サービス支援型	5 (2.1%)	27 (2.5%)	0 (0.0%)	5 (5.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	37 (1.7%)
計	236 (10.9%)	1,072 (49.7%)	251 (11.6%)	86 (4.0%)	40 (1.9%)	164 (7.6%)	277 (12.8%)	31 (1.4%)	2,157 (100.0%)

- ・ホーム数, 総定員数, 利用者数のいずれも介護サービス包括型ホームが全体の90%以上を占めている。
- ・入居率は利用者数2,157人÷総定員数2,340人≒92.2%であり, 居室の空きが少ない現状となっている。
- ・障害者の高齢化や重度化に対応することを目的として平成30年度に創設された日中サービス支援型ホームは全体の1%程度にとどまっている。なお, 日中サービス支援型ホームを新設するに当たっての問題点については問8-2を参照のこと。

(参考)宮城県全体のグループホームのホーム数等

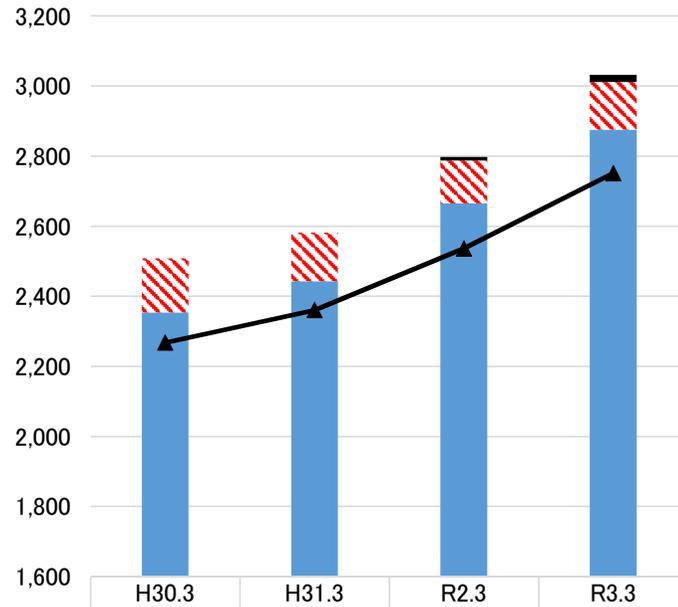
※障害者自立支援給付支払等システムに係る事業所台帳及び市町村への照会結果に基づく。

ホーム数(単位:戸)



	H30.3	H31.3	R2.3	R3.3
■ 日中サービス支援型	0	0	2	3
▨ 外部サービス利用型	28	27	24	27
■ 介護サービス包括型	448	465	500	527

総定員数, 利用者数(単位:人)



	H30.3	H31.3	R2.3	R3.3
■ 日中サービス支援型	0	0	10	21
▨ 外部サービス利用型	155	138	122	136
■ 介護サービス包括型	2,353	2,443	2,665	2,875
▲ 利用者数計	2,267	2,360	2,536	2,751

問2-2 外部サービス利用型ホームを運営している場合、外部サービスの内容、1週間当たりの利用日数、曜日  
 (n=17。ただし現に外部サービスを利用している入居者がいる7ホームのみ抜粋。)

外部サービスの内容	1週間当たりの利用日数	利用している曜日
居宅介護	2	金曜日・日曜日
整容、口腔ケア、就労や外出準備の声掛け・見守り・お手伝い、食事の声掛け・見守り、入浴の声掛け・見守り	7	月火水木金土日
午前6時30分から午前10時、午後3時30分から午後7時30分。食事の提供は朝、夕(2食)	7	日、月、火、水、木、金、土
受託居宅介護(身体介護)、移動支援、通院介助、訪問看護、訪問歯科、訪問リハビリ	7	全日
受託居宅介護(身体介護)、移動支援、通院介助、訪問看護、訪問歯科、訪問リハビリ	7	全日
ヘルパー等の利用はありません。協力医療機関のデイナイトケア参加や作業所への参加のみとなります。	5	月～金

問3 職員の人数(n=123)

(単位:人)

勤務形態		管理者		サービス管理責任者		世話人		生活支援員		夜間支援従事者(専従)	
			%		%		%		%		%
常勤	専従	15	12.1%	37	22.3%	215	18.7%	124	19.0%	62	21.2%
	兼務	99	79.8%	114	68.7%	226	19.6%	235	36.0%		
非常勤		10	8.1%	15	9.0%	710	61.7%	293	44.9%	230	78.8%
計		124	100.0%	166	100.0%	1,151	100.0%	652	100.0%	292	100.0%

- ・管理者, サービス管理責任者については90%以上を常勤職員が占めている。
- ・世話人, 夜間支援従事者については過半数を非常勤職員が占めている。

問4-1 障害種別ごとの利用者数(n=123。重複計上可。)

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
身体障害者	22 (8.1%)	102 (8.7%)	10 (3.8%)	7 (7.3%)	2 (4.5%)	8 (4.5%)	27 (8.8%)	2 (6.1%)	180 (7.6%)
知的障害者	205 (75.6%)	694 (59.2%)	199 (75.7%)	51 (53.1%)	32 (72.7%)	135 (76.7%)	178 (57.8%)	18 (54.5%)	1,512 (64.0%)
精神障害者	43 (15.9%)	365 (31.1%)	54 (20.5%)	36 (37.5%)	9 (20.5%)	33 (18.8%)	103 (33.4%)	13 (39.4%)	656 (27.7%)
難病等患者	1 (0.4%)	8 (0.7%)	0 (0.0%)	2 (2.1%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (0.5%)
その他	0 (0.0%)	4 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.2%)
計	271 (11.5%)	1,173 (49.6%)	263 (11.1%)	96 (4.1%)	44 (1.9%)	176 (7.4%)	308 (13.0%)	33 (1.4%)	2,364 (100.0%)

・いずれの圏域においても知的障害者が過半数を占めているが、仙台市、大崎圏域、石巻圏域、気仙沼圏域では他の圏域と比較して精神障害者の占める割合が多くなっている。

※重複計上可

## 問4-2 障害支援区分ごとの利用者数(n=123)

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	(参考)全国
非該当	17 (7.2%)	59 (5.5%)	13 (5.2%)	3 (3.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	93 (4.3%)	1,681 (6.0%)
区分1	6 (2.5%)	64 (6.0%)	4 (1.6%)	3 (3.5%)	1 (2.5%)	3 (1.8%)	20 (7.2%)	0 (0.0%)	101 (4.7%)	598 (2.1%)
区分2	62 (26.3%)	301 (28.1%)	77 (30.7%)	34 (39.5%)	5 (12.5%)	41 (25.0%)	85 (30.7%)	11 (35.5%)	616 (28.6%)	4,274 (15.3%)
区分3	76 (32.2%)	282 (26.3%)	69 (27.5%)	17 (19.8%)	22 (55.0%)	55 (33.5%)	77 (27.8%)	8 (25.8%)	606 (28.1%)	6,848 (24.5%)
区分4	52 (22.0%)	184 (17.2%)	50 (19.9%)	15 (17.4%)	10 (25.0%)	48 (29.3%)	66 (23.8%)	6 (19.4%)	431 (20.0%)	6,840 (24.5%)
区分5	12 (5.1%)	91 (8.5%)	25 (10.0%)	8 (9.3%)	2 (5.0%)	15 (9.1%)	20 (7.2%)	3 (9.7%)	176 (8.2%)	4,301 (15.4%)
区分6	7 (3.0%)	80 (7.5%)	12 (4.8%)	6 (7.0%)	0 (0.0%)	2 (1.2%)	8 (2.9%)	3 (9.7%)	118 (5.5%)	2,776 (9.9%)
未認定	4 (1.7%)	11 (1.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (0.7%)	605 (2.2%)
計	236 (10.9%)	1,072 (49.7%)	251 (11.6%)	86 (4.0%)	40 (1.9%)	164 (7.6%)	277 (12.8%)	31 (1.4%)	2,157 (100.0%)	27,923 (100.0%)

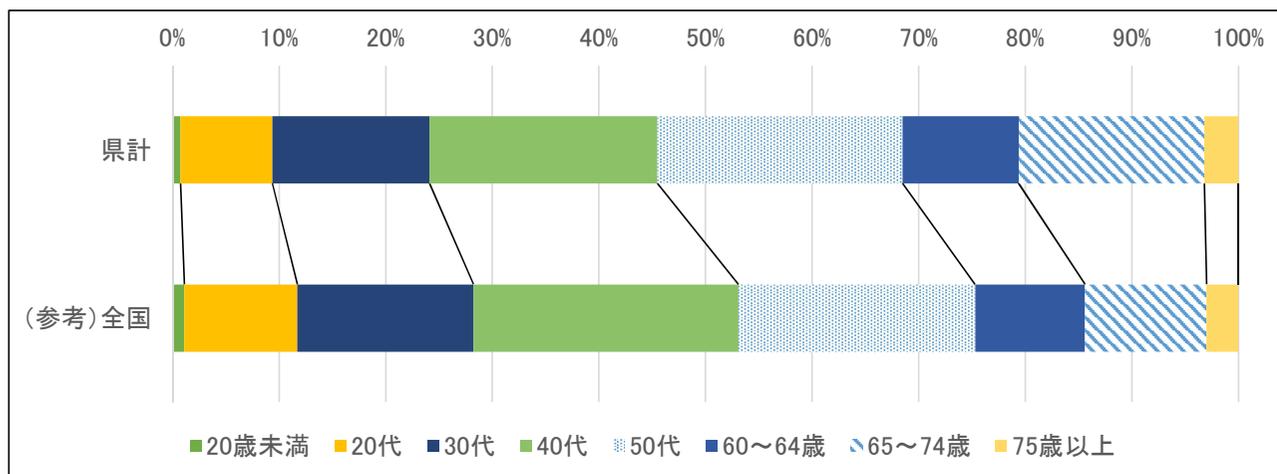
- ・区分2が最も多く、これに次いで区分3が多くなっている。
- ・区分4以上については、全国では半数近くを占める一方、本県では33%程度にとどまっている。

問4-3 年齢ごとの利用者数 (n=123)

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	県計	(参考)全国
20歳未満	2 (0.8%)	10 (0.9%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (0.7%)	301 (1.1%)
20代	21 (8.9%)	107 (10.0%)	28 (11.2%)	6 (7.0%)	4 (10.0%)	5 (3.0%)	8 (2.9%)	7 (22.6%)	186 (8.6%)	2,872 (10.6%)
30代	25 (10.6%)	187 (17.4%)	42 (16.7%)	10 (11.6%)	11 (27.5%)	22 (13.4%)	20 (7.2%)	1 (3.2%)	318 (14.7%)	4,477 (16.5%)
40代	41 (17.4%)	249 (23.2%)	48 (19.1%)	14 (16.3%)	9 (22.5%)	36 (22.0%)	56 (20.2%)	8 (25.8%)	461 (21.4%)	6,736 (24.9%)
50代	46 (19.5%)	258 (24.1%)	41 (16.3%)	30 (34.9%)	10 (25.0%)	29 (17.7%)	75 (27.1%)	7 (22.6%)	496 (23.0%)	6,014 (22.2%)
60~64歳	36 (15.3%)	90 (8.4%)	30 (12.0%)	10 (11.6%)	1 (2.5%)	23 (14.0%)	43 (15.5%)	2 (6.5%)	235 (10.9%)	2,796 (10.3%)
65~74歳	57 (24.2%)	147 (13.7%)	52 (20.7%)	11 (12.8%)	5 (12.5%)	41 (25.0%)	57 (20.6%)	6 (19.4%)	376 (17.4%)	3,091 (11.4%)
75歳以上	8 (3.4%)	24 (2.2%)	7 (2.8%)	5 (5.8%)	0 (0.0%)	7 (4.3%)	18 (6.5%)	0 (0.0%)	69 (3.2%)	811 (3.0%)
計	236 (10.9%)	1,072 (49.7%)	251 (11.6%)	86 (4.0%)	40 (1.9%)	164 (7.6%)	277 (12.8%)	31 (1.4%)	2,157 (100.0%)	27,098 (100.0%)

・全国と比較すると65歳以上の占める割合が多く、利用者の高齢化が進んでいることが窺える。



## 問4-4 入居している期間ごとの利用者数 (n=123)

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
1年未満	37 (15.7%)	176 (16.4%)	30 (12.0%)	7 (8.1%)	10 (25.0%)	6 (3.7%)	55 (19.9%)	6 (19.4%)	327 (15.2%)
1年以上～3年未満	15 (6.4%)	225 (21.0%)	33 (13.1%)	15 (17.4%)	7 (17.5%)	16 (9.8%)	43 (15.5%)	2 (6.5%)	356 (16.5%)
3年以上～5年未満	8 (3.4%)	142 (13.2%)	21 (8.4%)	11 (12.8%)	10 (25.0%)	7 (4.3%)	22 (7.9%)	1 (3.2%)	222 (10.3%)
5年以上～10年未満	37 (15.7%)	259 (24.2%)	61 (24.3%)	19 (22.1%)	5 (12.5%)	25 (15.2%)	87 (31.4%)	17 (54.8%)	510 (23.6%)
10年以上	139 (58.9%)	270 (25.2%)	106 (42.2%)	34 (39.5%)	8 (20.0%)	110 (67.1%)	70 (25.3%)	5 (16.1%)	742 (34.4%)
計	236 (10.9%)	1,072 (49.7%)	251 (11.6%)	86 (4.0%)	40 (1.9%)	164 (7.6%)	277 (12.8%)	31 (1.4%)	2,157 (100.0%)

・10年以上入居している利用者数の割合が登米圏域、仙南圏域で突出して多くなっている。

問4-5 主たる日中活動ごとの利用者数(n=123)

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	(参考)全国
生活介護	58 (24.6%)	297 (27.7%)	79 (31.5%)	29 (33.7%)	25 (62.5%)	56 (34.1%)	143 (51.6%)	8 (25.8%)	695 (32.2%)	10,744 (37.4%)
就労移行支援	4 (1.7%)	21 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (10.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	3 (9.7%)	33 (1.5%)	294 (1.0%)
就労継続支援A型	8 (3.4%)	31 (2.9%)	8 (3.2%)	3 (3.5%)	1 (2.5%)	5 (3.0%)	1 (0.4%)	2 (6.5%)	59 (2.7%)	1,424 (5.0%)
就労継続支援B型	117 (49.6%)	432 (40.3%)	116 (46.2%)	30 (34.9%)	8 (20.0%)	80 (48.8%)	109 (39.4%)	13 (41.9%)	905 (42.0%)	9,873 (34.4%)
地域活動支援センター	4 (1.7%)	8 (0.7%)	2 (0.8%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	3 (1.8%)	4 (1.4%)	0 (0.0%)	22 (1.0%)	341 (1.2%)
一般就労	29 (12.3%)	127 (11.8%)	17 (6.8%)	7 (8.1%)	2 (5.0%)	11 (6.7%)	7 (2.5%)	3 (9.7%)	203 (9.4%)	4,781 (16.7%)
通所介護等(介護保険)	0 (0.0%)	17 (1.6%)	3 (1.2%)	2 (2.3%)	0 (0.0%)	3 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	25 (1.2%)	246 (0.9%)
精神科デイケア	9 (3.8%)	25 (2.3%)	14 (5.6%)	12 (14.0%)	0 (0.0%)	3 (1.8%)	11 (4.0%)	1 (3.2%)	75 (3.5%)	
精神科作業療法(外来)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.1%)	
その他の活動	2 (0.8%)	20 (1.9%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (1.1%)	327 (1.1%)
グループホームのみ	5 (2.1%)	92 (8.6%)	12 (4.8%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	2 (0.7%)	1 (3.2%)	114 (5.3%)	670 (2.3%)
計	236 (10.9%)	1,072 (49.7%)	251 (11.6%)	86 (4.0%)	40 (1.9%)	164 (7.6%)	277 (12.8%)	31 (1.4%)	2,157 (100.0%)	28,700 (100.0%)

・就労継続支援A型、B型及び一般就労の計で全体の50%以上を占めるが、生活介護利用者も一定割合おり、日常生活自立度が多様であることが推察される。

問5-1 土日祝日等の日中支援(n=123)

(単位:事業所)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	(参考)全国
生活支援員等を配置し、支援を行っている	12 (11.9%)	47 (46.5%)	18 (17.8%)	4 (4.0%)	4 (4.0%)	5 (5.0%)	8 (7.9%)	3 (3.0%)	101 (82.1%)	1,007 (85.5%)
生活支援員等を配置しておらず、支援を行っていない	2 (9.1%)	14 (63.6%)	1 (4.5%)	3 (13.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (9.1%)	22 (17.9%)	171 (14.5%)
計	14 (11.4%)	61 (49.6%)	19 (15.4%)	7 (5.7%)	4 (3.3%)	5 (4.1%)	8 (6.5%)	5 (4.1%)	123 (100.0%)	1,178 (100.0%)

問5-2 ホームヘルプ, 訪問看護の利用者数(n=123)

(単位:戸)

		仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	(参考)全国
利用している	ホーム数	7	108	16	4	1	0	20	3	159	1,164
		(4.4%)	(67.9%)	(10.1%)	(2.5%)	(0.6%)	(0.0%)	(12.6%)	(1.9%)	(35.3%)	(55.6%)
利用していない	ホーム数	46	119	36	16	6	36	29	3	291	929
		(15.8%)	(40.9%)	(12.4%)	(5.5%)	(2.1%)	(12.4%)	(10.0%)	(1.0%)	(64.7%)	(44.4%)
計		53	227	52	20	7	36	49	6	450	2,093
		(11.8%)	(50.4%)	(11.6%)	(4.4%)	(1.6%)	(8.0%)	(10.9%)	(1.3%)	(100.0%)	(100.0%)

(単位:人)

		仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	(参考)全国
利用者数		13	286	45	15	1	0	71	3	434	2,787
		(3.0%)	(65.9%)	(10.4%)	(3.5%)	(0.2%)	(0.0%)	(16.4%)	(0.7%)	(100.0%)	

問5-3 問5-2で「利用している」を選択した場合、その利用者数(n=63。複数回答可。)

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	(参考)全国
身体介護	1 (1.4%)	67 (97.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	69 (12.9%)	309 (5.8%)
家事援助	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	48 (0.9%)
通院介助	0 (0.0%)	52 (96.3%)	2 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	54 (10.1%)	920 (17.2%)
重度訪問介護	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	64 (1.2%)
行動援護	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	400 (7.5%)
移動支援	12 (4.8%)	163 (64.7%)	14 (5.6%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	60 (23.8%)	0 (0.0%)	252 (47.0%)	3,580 (67.1%)
重度障害者等包括支援	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	18 (0.3%)
精神科訪問看護	0 (0.0%)	98 (62.4%)	30 (19.1%)	12 (7.6%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	14 (8.9%)	2 (1.3%)	157 (29.3%)	
計	13 (2.4%)	387 (72.1%)	50 (9.3%)	15 (2.8%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	74 (13.9%)	3 (0.6%)	536 (100.0%)	5,339 (100.0%)

問5-4 報酬加算の取得状況 (n=123)

重度障害者支援加算(Ⅰ)

(単位:事業所)

		仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
取得している		0	3	1	0	0	0	0	0	4	(3.3%)
取得していない	取得を検討している	0	9	2	0	0	0	0	0	11	(8.9%)
	取得を検討していない	14	49	16	7	4	5	8	5	108	(87.8%)
計		14	61	19	7	4	5	8	5	123	(100.0%)

重度障害者支援加算(Ⅱ)

(単位:事業所)

		仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
取得している		0	3	0	0	0	0	0	1	4	(3.3%)
取得していない	取得を検討している	0	10	4	0	0	1	0	0	15	(12.2%)
	取得を検討していない	14	48	15	7	4	4	8	4	104	(84.6%)
計		14	61	19	7	4	5	8	5	123	(100.0%)

医療的ケア対応支援加算

(単位:事業所)

		仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
取得している		0	3	0	0	0	0	0	0	3	(2.4%)
取得していない	取得を検討している	0	5	3	1	0	0	1	0	10	(8.1%)
	取得を検討していない	14	53	16	6	4	5	7	5	110	(89.4%)
計		14	61	19	7	4	5	8	5	123	(100.0%)

強度行動障害者体験利用加算

(単位:事業所)

		仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
取得している		0	2	1	0	0	0	0	0	3	(2.4%)
取得していない	取得を検討している	1	8	4	0	1	1	0	0	15	(12.2%)
	取得を検討していない	13	51	14	7	3	4	8	5	105	(85.4%)
計		14	61	19	7	4	5	8	5	123	(100.0%)

夜間支援等体制加算

(単位:事業所)

		仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
取得している		10	56	16	7	3	5	7	5	109	(88.6%)
取得していない	取得を検討している	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
	取得を検討していない	4	5	3	0	1	0	1	0	14	(11.4%)
計		14	61	19	7	4	5	8	5	123	(100.0%)

・夜間支援等体制加算以外の加算については、「取得を検討していない」がそれぞれ90%近くを占め、取得状況が低調である。  
 ただし、「取得を検討している」がそれぞれ10数事業所ある。

問6-1 退去後の生活の場ごとの退去者数(n=88)

※平成30年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
自宅(家族と同居)	7 (12.5%)	29 (51.8%)	7 (12.5%)	1 (1.8%)	1 (1.8%)	4 (7.1%)	7 (12.5%)	0 (0.0%)	56 (13.3%)
自宅(1人暮らしやパートナーと同居)	1 (1.9%)	31 (58.5%)	7 (13.2%)	1 (1.9%)	2 (3.8%)	3 (5.7%)	7 (13.2%)	1 (1.9%)	53 (12.6%)
宿泊型自立訓練	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)
他の共同生活援助	11 (14.9%)	37 (50.0%)	15 (20.3%)	5 (6.8%)	1 (1.4%)	1 (1.4%)	4 (5.4%)	0 (0.0%)	74 (17.5%)
福祉ホーム・地域移行支援型ホーム	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.9%)
障害者支援施設	4 (18.2%)	5 (22.7%)	3 (13.6%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	8 (36.4%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	22 (5.2%)
入所施設(施設入所支援)	0 (0.0%)	7 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)	14 (3.3%)
病院	5 (5.0%)	47 (46.5%)	23 (22.8%)	6 (5.9%)	0 (0.0%)	7 (6.9%)	12 (11.9%)	1 (1.0%)	101 (23.9%)
刑務所等矯正施設	0 (0.0%)	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (1.7%)
児童養護施設・児童自立支援施設・児童相談所(一時保護)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
特別養護老人ホーム・老人保健施設	2 (7.4%)	8 (29.6%)	10 (37.0%)	2 (7.4%)	1 (3.7%)	2 (7.4%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	27 (6.4%)
介護保険グループホーム	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	6 (1.4%)
死亡	6 (17.1%)	17 (48.6%)	6 (17.1%)	2 (5.7%)	1 (2.9%)	2 (5.7%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	35 (8.3%)
その他	0 (0.0%)	11 (55.0%)	4 (20.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	3 (15.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	20 (4.7%)
計	36 (8.5%)	206 (48.8%)	76 (18.0%)	19 (4.5%)	9 (2.1%)	33 (7.8%)	40 (9.5%)	3 (0.7%)	422 (100.0%)

- ・病院への転居が最多であるが、問6-2で退去者の半数程度が精神障害者であることから、精神科病院への入院が一定数あるものとの推察される。
- ・次いで他の共同生活援助、自宅(家族と同居)が続く。

問6-2 障害の種別ごとの退去者数(n=88。重複計上可。)

※平成30年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
身体障害者	12 (31.6%)	10 (4.6%)	2 (2.6%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	7 (20.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32 (7.3%)
知的障害者	20 (52.6%)	74 (34.1%)	41 (52.6%)	10 (47.6%)	9 (90.0%)	18 (52.9%)	14 (35.0%)	1 (33.3%)	187 (42.4%)
精神障害者	6 (15.8%)	131 (60.4%)	33 (42.3%)	10 (47.6%)	1 (10.0%)	9 (26.5%)	26 (65.0%)	2 (66.7%)	218 (49.4%)
難病等患者	0 (0.0%)	2 (0.9%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
計	38 (8.6%)	217 (49.2%)	78 (17.7%)	21 (4.8%)	10 (2.3%)	34 (7.7%)	40 (9.1%)	3 (0.7%)	441 (100.0%)

・利用者数では知的障害者が精神障害者を大きく上回っているが、退去者数では精神障害者が最多となっている。

※重複計上可

問6-3 入居していた期間ごとの退去者数(n=88)

※平成30年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
1年未満	5 (13.9%)	68 (33.0%)	15 (19.7%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	1 (3.0%)	7 (17.5%)	0 (0.0%)	97 (23.0%)
1年以上～3年未満	2 (5.6%)	62 (30.1%)	14 (18.4%)	9 (47.4%)	2 (22.2%)	6 (18.2%)	18 (45.0%)	1 (33.3%)	114 (27.0%)
3年以上～5年未満	4 (11.1%)	22 (10.7%)	9 (11.8%)	2 (10.5%)	1 (11.1%)	3 (9.1%)	4 (10.0%)	0 (0.0%)	45 (10.7%)
5年以上～10年未満	4 (11.1%)	28 (13.6%)	16 (21.1%)	1 (5.3%)	1 (11.1%)	6 (18.2%)	8 (20.0%)	2 (66.7%)	66 (15.6%)
10年以上	21 (58.3%)	26 (12.6%)	22 (28.9%)	7 (36.8%)	4 (44.4%)	17 (51.5%)	3 (7.5%)	0 (0.0%)	100 (23.7%)
計	36 (8.5%)	206 (48.8%)	76 (18.0%)	19 (4.5%)	9 (2.1%)	33 (7.8%)	40 (9.5%)	3 (0.7%)	422 (100.0%)

問6-4 入居者がグループホームでの生活を希望していたにもかかわらず退去した事例の有無 (n=88)

※死亡による退去は除く。 ※平成30年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:事業所)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
退去した事例があった	6 (12.0%)	26 (52.0%)	11 (22.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)	3 (6.0%)	1 (2.0%)	50 (56.8%)
退去した事例はなかった	5 (13.2%)	17 (44.7%)	4 (10.5%)	3 (7.9%)	3 (7.9%)	3 (7.9%)	3 (7.9%)	0 (0.0%)	38 (43.2%)
計	11 (12.5%)	43 (48.9%)	15 (17.0%)	4 (4.5%)	3 (3.4%)	5 (5.7%)	6 (6.8%)	1 (1.1%)	88 (100.0%)

問6-5 問6-4で「退去した事例があった」を選択した場合、退去した理由等

※事例が複数ある場合は、主な事例について最大3つまで ※平成30年4月1日から令和2年3月31日まで

(1)退去した理由(n=50。複数回答可。)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
疾病・事故	1	9	2	3	0	0	0	1	16	(12.2%)
認知症	1	2	2	0	0	0	0	0	5	(3.8%)
加齢の伴う身体機能の低下	0	4	2	1	0	2	1	0	10	(7.6%)
障害の重度化	1	8	2	1	0	1	2	1	16	(12.2%)
家族・親族の意志	2	4	4	0	0	2	1	0	13	(9.9%)
反社会的行動	0	7	2	0	0	0	1	0	10	(7.6%)
行動障害	1	10	1	0	0	0	1	0	13	(9.9%)
人間関係の不和	0	11	1	0	0	0	0	0	12	(9.2%)
収入の低下等経済問題	0	1	0	0	0	0	0	0	1	(0.8%)
消防法適合のため	0	1	1	0	0	0	0	0	2	(1.5%)
共同生活住居の閉鎖	2	1	0	0	0	0	0	0	3	(2.3%)
その他(具体的に回答)	7	15	4	3	0	0	0	1	30	(22.9%)
計	15	73	21	8	0	5	6	3	131	(100.0%)

その他の回答内容(主なものを掲載・要約)

- ・障害、疾病等の重度化によりグループホームでの生活が難しくなった。
- ・触法行為やその他の規約違反行為
- ・ホームの対象性別を変更したため 等

## (2)入居者がグループホームでの生活を希望していたにもかかわらず退去した利用者の退去後の生活の場(n=50)

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
自宅(家族と同居)	3	9	0	0	0	0	2	0	14	(13.9%)
自宅(1人暮らしやパートナーと同居)	0	5	3	0	0	0	0	1	9	(8.9%)
宿泊型自立訓練	0	1	0	0	0	0	1	0	2	(2.0%)
他の共同生活援助	3	13	6	0	0	1	1	0	24	(23.8%)
福祉ホーム・地域移行支援型ホーム	0	2	0	0	0	0	0	0	2	(2.0%)
障害者支援施設	3	1	0	1	0	0	0	0	5	(5.0%)
入所施設(施設入所支援)	0	6	0	0	0	1	1	1	9	(8.9%)
病院	1	16	4	1	0	0	0	1	23	(22.8%)
刑務所等矯正施設	0	2	0	0	0	0	0	0	2	(2.0%)
児童養護施設・児童自立支援施設・児童相談所(一時保護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
特別養護老人ホーム・老人保健施設	1	2	1	1	0	0	0	0	5	(5.0%)
介護保険グループホーム	0	1	1	0	0	1	0	0	3	(3.0%)
その他	1	2	0	0	0	0	0	0	3	(3.0%)
計	12	60	15	3	0	3	5	3	101	(100.0%)

## (3)どのような支援や施策、条件等があれば入居を続けることができましたか(n=32。主なものを掲載・要約)

- ・見守り体制の充実
- ・人員の確保
- ・バリアフリー化、防音施工等の環境整備
- ・行動障害への対応に関する研修会やミーティング
- ・医療との連携 等

問7-1 入居前の生活の場ごとの新規入居者数(n=98)

※平成30年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
自宅(家族と同居)	13 (5.1%)	146 (56.8%)	37 (14.4%)	12 (4.7%)	1 (0.4%)	12 (4.7%)	34 (13.2%)	2 (0.8%)	257 (35.7%)
自宅(1人暮らしやパートナーと同居)	4 (8.3%)	31 (64.6%)	2 (4.2%)	2 (4.2%)	1 (2.1%)	2 (4.2%)	5 (10.4%)	1 (2.1%)	48 (6.7%)
宿泊型自立訓練	0 (0.0%)	48 (76.2%)	4 (6.3%)	8 (12.7%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	63 (8.8%)
他の共同生活援助	10 (11.9%)	53 (63.1%)	6 (7.1%)	2 (2.4%)	3 (3.6%)	4 (4.8%)	6 (7.1%)	0 (0.0%)	84 (11.7%)
福祉ホーム・地域移行支援型ホーム	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.4%)
障害者支援施設	4 (26.7%)	2 (13.3%)	4 (26.7%)	2 (13.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)	0 (0.0%)	15 (2.1%)
入所施設(施設入所支援)	0 (0.0%)	11 (78.6%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	14 (1.9%)
病院	2 (1.2%)	114 (69.5%)	17 (10.4%)	2 (1.2%)	0 (0.0%)	3 (1.8%)	26 (15.9%)	0 (0.0%)	164 (22.8%)
刑務所等矯正施設	0 (0.0%)	12 (75.0%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (2.2%)
児童養護施設・児童自立支援施設・児童相談所(一時保護)	0 (0.0%)	9 (90.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (1.4%)
その他	1 (2.9%)	32 (91.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	35 (4.9%)
計	36 (5.0%)	467 (64.9%)	74 (10.3%)	28 (3.9%)	11 (1.6%)	24 (3.4%)	76 (10.5%)	3 (0.4%)	719 (100.0%)

・自宅(家族と同居)からの転居が最も多く、全体の36.2%に当たる。

・なお、障害者施設、入所施設からの転居がそれぞれ2%程度にとどまっており、施設からの地域移行が十分に進んでいない現状となっている。

問7-2 グループホームの利用につなげた関係者ごとの新規入居者数(n=98)

(いずれの関係機関からグループホームの利用につながったのか)

※平成30年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:人)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計
病院からつながった	4 (2.8%)	93 (65.0%)	9 (6.3%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)	33 (23.1%)	0 (0.0%)	143 (20.2%)
相談支援事業所からつながった	19 (5.6%)	205 (60.5%)	52 (15.3%)	17 (5.0%)	6 (1.8%)	13 (3.8%)	25 (7.4%)	2 (0.6%)	339 (47.8%)
他の障害福祉サービス事業所からつながった	0 (0.0%)	68 (77.3%)	1 (1.1%)	8 (9.1%)	1 (1.1%)	3 (3.4%)	6 (6.8%)	1 (1.1%)	88 (12.4%)
障害児入所施設からつながった	1 (10.0%)	4 (40.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (1.4%)
家族からつながった	4 (11.4%)	19 (54.3%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	10 (28.6%)	0 (0.0%)	35 (4.9%)
特別支援学校からつながった	3 (30.0%)	6 (60.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (1.4%)
市町村からつながった	1 (5.3%)	13 (68.4%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (21.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (2.7%)
その他の関係者からつながった	3 (6.0%)	40 (80.0%)	4 (8.0%)	0 (0.0%)	3 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	50 (7.1%)
利用者自身でつながった	0 (0.0%)	12 (80.0%)	1 (6.7%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	15 (2.1%)
計	35 (4.9%)	460 (64.9%)	73 (10.3%)	28 (3.9%)	11 (1.6%)	24 (3.4%)	75 (10.6%)	3 (0.4%)	709 (100.0%)

・相談支援事業所からグループホームの利用につながった入居者が最多となっている。

なお、相談支援員の不足が課題として指摘されており、その人員数の充足によって、今後グループホームの利用拡大が期待される。

問7-3 入居希望者が入居に至らなかった理由(n=98。複数回答可。)

※平成30年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:事業所)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
空室がないため	2	34	9	5	1	3	2	2	58	(21.8%)
他の入居者との相性が合わないため	2	15	5	1	1	0	1	0	25	(9.4%)
入居希望者の家族・親族が反対したため	0	5	4	0	0	1	2	0	12	(4.5%)
平均区分が上がりスプリンクラーが必要になるため	0	3	0	0	0	0	0	0	3	(1.1%)
対象としている障害種別と異なるため	1	11	3	1	0	0	0	0	16	(6.0%)
医療的ケアに対応できないため	1	5	4	0	0	2	1	1	14	(5.3%)
他害のおそれがあるため	1	12	3	0	1	0	1	1	19	(7.1%)
支援の専門性が不足しているため	2	6	1	1	1	0	0	0	11	(4.1%)
支援の人手が不足しているため	0	5	2	0	1	0	0	0	8	(3.0%)
特に夜間支援の人手が不足しているため	1	4	5	1	1	1	1	0	14	(5.3%)
バリアフリーではないため	1	8	1	2	0	0	1	0	13	(4.9%)
65歳以上であるため	0	2	0	0	0	0	0	0	2	(0.8%)
成年後見人(補助人、保佐人を含む)がないため	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
行動障害に対応できないため	1	6	3	0	1	0	1	1	13	(4.9%)
家族・親族がおらず身元保証人がいないため	0	1	0	0	0	0	1	0	2	(0.8%)
その他(具体的に回答)	2	15	1	1	1	0	2	1	23	(8.6%)
入居に至らなかった事例はない	8	12	4	2	2	2	1	2	33	(12.4%)
計	22	144	45	14	10	9	14	8	266	(100.0%)

・「空室がないため」が最多となっているが、これに関連して、今回回答のあった450ホームでの入居率は、利用者数2,157人÷総定員2,340人≒92.2%に達している。入居のニーズに応じて、更なるグループホームの整備に取り組む必要がある。

その他の回答内容(主なものを掲載・要約)

- ・居室の構造が本人の希望や障害特性に適していない。
- ・経済的理由

- ・食事や生活習慣等が本人の希望に合わない。
- ・障害の程度が重い利用者が既に多く、新規入居者を受け入れる余力がない。 等

問7-4 特に入居が難しいとされる障害者を受け入れた実績の有無(n=98)

※平成30年4月1日から令和3年3月31日まで

強度行動障害を有する障害者

(単位:事業所)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
実績があった	2	5	3	0	0	1	0	0	11	(11.2%)
実績がなかった	9	45	12	5	4	4	7	1	87	(88.8%)
計	11	50	15	5	4	5	7	1	98	(100.0%)

医療的ケアが必要な障害者

(単位:事業所)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
実績があった	0	4	0	0	1	1	0	0	6	(6.1%)
実績がなかった	11	46	15	5	3	4	7	1	92	(93.9%)
計	11	50	15	5	4	5	7	1	98	(100.0%)

・受け入れた実績のあった事業所は、強度行動障害を有する障害者については約11%、医療的ケアが必要な障害者については約6%となっている。

問7-5 特に入居が難しいとされる障害者の受け入れに関する課題等（主な回答を掲載・要約）

※平成30年4月1日から令和3年3月31日まで

(1) 強度行動障害を有する障害者 (n=107)

【人材の確保に関すること】

○受け入れに関する課題

- ・ 専門知識を持った人材が常時必要であり、人員確保が困難
- ・ 職員の高齢化
- ・ 有資格者兼福祉業界経験者の人材がない。
- ・ 祝祭日の日中支援者がいない 等

○どのような支援や施策、条件等があれば受け入れが進むと思いますか

- ・ 夜勤者の充足。世話人と生活支援員の二人体制が必要。
- ・ 人件費の補助
- ・ 運営が成り立つ事業予算、事業費単価
- ・ 一定期間入所施設等で24時間のアセスメントを行い、GH生活に必要な環境設定や支援方法を探るなど、入所施設とGHの新たな連携とそれに応じた加算が必要（生活介護の重度障害者支援加算のように入居後180日）
- ・ 労働行政と福祉行政が行うPR活動
- ・ 介護福祉士等の養成機関への補助 等

## 【支援の専門性に関すること】

### ○受け入れに関する課題

- ・ 年齢や経験の条件問わず配置せざるを得ないスタッフの現状のもとで、複雑な支援手順の全体共有や対応は困難
- ・ 居住空間の構成等ノウハウの整備がない。
- ・ 身体拘束や行動制限などの虐待に繋がる可能性がある。
- ・ 強度行動障害研修を受けなくてはならないことや、研修を受けるのに費用がかかる。
- ・ 障害特性から他者との不和が起きやすい。他の障害とマッチしにくい。 等

### ○どのような支援や施策、条件等があれば受け入れが進むと思いますか

- ・ 研修、受け入れ実績のある他グループホームの見学機会
- ・ 非常勤スタッフ等でも受講しやすいオンデマンド研修などの充実
- ・ 他事業所との協力体制
- ・ 専門相談機関のコンサルテーション
- ・ 音に敏感の方も多いためハード面の対策や、ある程度のスケジュール管理、自己決定の機会、緊急時に確実に対応してくれるグループホーム以外の施設などの環境整備を必要に感じる。
- ・ 病院との併設 等

## 【施設の整備に関すること】

### ○受け入れに関する課題

- ・ 建物が共同住宅のため、音や声が響きやすい。
- ・ けがを防ぐ建物が必要となるので、スプリンクラーの補助金のような支援がないと、建築費用を抑えることができず負担が大きい。 等

### ○どのような支援や施策、条件等があれば受け入れが進むと思いますか

- ・ GHの住居が確保しやすくなるとよい。
- ・ 工事費用の補助があるとよい。
- ・ 設備投資に対しての補助金の拡充 等

## 【その他】

### ○受け入れに関する課題

- ・ 利用者同士のマッチング
- ・ 近隣住民の方の理解、町内会等を含めた地域の理解が得られるかどうか。 等

### ○ どのような支援や施策、条件等があれば受け入れが進むと思いますか

- ・ 強度行動障害の方を受け入れる際に、地域の不安等を第三者的に調整してくれるサポート。
- ・ 強度行動障害に対する地域住民への理解促進
- ・ 支援や施策、条件といっても安易に受け入れることが出来ない。
- ・ 宮城県や仙台市で、強度行動障害を受け入れるモデル事業を行うことです。教科書だけではない、実例が必要です。 等

(2) 医療的ケアが必要な障害者 (n=103)

【人材の確保に関すること】

○受け入れに関する課題

- ・看護師や医療的ケアを取り扱うことができる専門資格をもつ職員がいない。 等

○どのような支援や施策、条件等があれば受け入れが進むと思いますか

- ・待遇面の改善、報酬の見直し
- ・訪問医療、訪問看護の尚一層の充実と、それを受け入れるグループホーム側の受援体制の強化（生活支援員・世話人業務の弾力化）
- ・喀痰吸引等研修等の受講
- ・個々の事業所で求人することは難しいため、行政の支援（看護師の紹介）が必要 等

【支援の専門性に関すること】

○受け入れに関する課題

- ・万が一を考えるとリスクが高いのでは無いかと判断をしまい、現状ではお断りをすることが多い。
- ・重度の方と比べて医的ケアが必要となると専門知識が必要で外部多職種との連携も複雑となると GH での生活には見合っていないように思う。
- ・例えば看護師を加配しても部分的に介入する事は出来るが常用的に管理が必要な場合、継続性を持って対応を図るためにはスタッフにもその知識と合わせて理解を得る事が必要 等

○どのような支援や施策、条件等があれば受け入れが進むと思いますか

- ・病院と連携
- ・GHでのヘルパー利用の可（各種サービスの利用）
- ・訪問看護センター等で、食事の時間、入浴の時間に来れるように出来れば良い 等

【施設の整備に関すること】

○受け入れに関する課題

- ・リクライニング車椅子などが使いやすいスペースの確保, その他医療デバイスのスペースや電力の確保等, イニシャル&ランニングコストが高い 等

○どのような支援や施策, 条件等があれば受け入れが進むと思いますか

- ・設備投資に対しての補助金の拡充 等

【その他】

○受け入れに関する課題

- ・医療的ケアの機器の準備
- ・医療食の確保
- ・訪問看護でも, 一刻を待てないとき, すぐに対応する訪問看護がない 等

○どのような支援や施策, 条件等があれば受け入れが進むと思いますか

- ・重心事業を実施していた事業所, 医的ケア受け入れ事業所同士の情報交換からの地域ニーズの把握
- ・実績のあるところに市からの依頼で銀行に優先的に貸し付けることが出来るよう促してもらう 等

問8-1 グループホームを運営する上での問題点(n=123。複数回答可。)

(単位:事業所)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
経営(収支)が苦しく、人材の確保・定着が難しい	9	50	16	4	4	4	6	2	95	(14.7%)
新規入居者の確保が難しい	1	18	7	2	2	3	2	1	36	(5.6%)
入居希望者は多いが、新規開設が困難	4	30	7	4	1	0	1	0	47	(7.3%)
支援従事者の支援業務に関する知識や技術が不足している	11	30	10	3	3	3	5	4	69	(10.7%)
支援従事者の支援業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	3	9	6	0	1	2	2	1	24	(3.7%)
管理者の指導・管理能力が不足している	7	13	2	1	0	1	1	1	26	(4.0%)
教育・研修の時間が十分に取れない	11	31	11	4	3	3	7	2	72	(11.1%)
支援従事者間のコミュニケーションが不足している	6	11	7	2	2	1	2	1	32	(5.0%)
経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	2	9	3	1	1	0	1	0	17	(2.6%)
他事業所(通所支援等)との連携がうまくできていない	0	9	1	0	0	1	1	0	12	(1.9%)
入居者やその家族のグループホームに対する理解が不足している	4	14	2	0	2	0	5	0	27	(4.2%)
障害者福祉サービスの制度改正等についての的確な情報や説明が得られない	8	13	2	0	1	0	0	0	24	(3.7%)
共同生活援助サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	0	20	4	4	2	1	6	1	38	(5.9%)
事業所では解決できない課題を提起、検討、解決していく仕組みがない	1	18	2	0	2	0	3	0	26	(4.0%)
雇用管理等についての情報や指導が不足している	1	8	4	0	0	0	1	2	16	(2.5%)
消防法や建築基準法に適合するための費用負担が大きすぎる	2	27	7	3	1	1	3	3	47	(7.3%)
その他(具体的に回答)	2	18	5	3	0	0	3	0	31	(4.8%)
特に問題はない	2	4	1	0	0	0	0	0	7	(1.1%)
計	74	332	97	31	25	20	49	18	646	(100.0%)

・運営上の問題については上位順に「経営(収支)が苦しく、人材の確保・定着が難しい」、「教育・研修の時間が十分に取れない」、「支援従事者の支援業務に関する知識や技術が不足している」などとなっている。

・「経営(収支)が苦しく、人材の確保・定着が難しい」については、全123事業所の8割近い95事業所が問題点として挙げている。

・「教育・研修の時間が十分に取れない」、「支援従事者の支援業務に関する知識や技術が不足している」については、世話人と夜間支援従事者の多くが非常勤職員であることも要因に考えられる。

その他の回答内容(主なものを掲載・要約)

- ・市町村により行政担当者の考え方や習熟度にばらつきがある。
- ・身寄りがないなど、ほとんど異動が出来ない状態であり、入居者の自立に繋げるのが難しい。
- ・通院対応の多さ、家族の高齢化が課題で、せめて通院介助が利用できるよう行政の理解を求めたい。
- ・スプリンクラーの設置に対する助成が新規か増床でしか利用できない。 等

問8-2 日中サービス支援型のグループホームを新設する予定の有無(n=123)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
予定がある	0	2	0	0	0	0	1	0	3	(2.4%)
予定はないが、今後新設することを検討している	1	14	1	1	0	1	0	2	20	(16.3%)
予定はない(検討したこともない)	12	28	13	6	4	4	6	2	75	(61.0%)
検討したことはあるが、実施に向けては課題があり、断念した。	1	17	5	0	0	0	1	1	25	(20.3%)
計	14	61	19	7	4	5	8	5	123	(100.0%)

・「予定がある」はわずか2%程度にとどまっているものの、「予定はないが、今後新設することを検討している」、「検討したことはあるが、実施に向けては課題があり、断念した。」の計が約36%となり、少なくとも1度は新設を検討した事業所が一定数あることが分かる。

問8-3 日中サービス支援型のグループホームを新設するに当たっての問題点(n=123。複数回答可。)

	仙南	仙台市	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	計	%
現在の障害福祉サービス等報酬では採算が厳しい	9	42	10	3	3	3	5	2	77	(20.2%)
サービス提供に必要な医療機関等関係者との連携体制の構築が難しい	11	28	8	2	3	1	2	2	57	(15.0%)
サービスを提供する上で必要な人材の確保・定着が難しい	13	45	15	6	2	5	7	3	96	(25.2%)
入居希望者は多いが、適切なサービス提供ができるかどうか不安である	5	15	4	2	0	2	1	1	30	(7.9%)
支援従事者の支援業務に関する知識や技術が不足している	10	24	9	2	2	3	4	3	57	(15.0%)
管理者の指導・管理能力が不足している	1	12	2	0	1	1	1	1	19	(5.0%)
入居者やその家族のグループホームに対する理解が不足している	3	10	2	0	1	1	1	0	18	(4.7%)
その他(具体的に回答)	3	13	3	3	0	0	1	0	23	(6.0%)
特に問題はない	1	1	1	1	0	0	0	0	4	(1.0%)
計	56	190	54	19	12	16	22	12	381	(100.0%)

・問8-1と同様、採算が厳しいこと、人員の確保・定着(特に看護師や夜間職員)を課題に挙げる事業所が多い。

その他の回答内容(主なものを掲載)

- ・重度者の受け入れありきの報酬で採算が合わない。
- ・土地、建物の確保が難しい。
- ・入居希望者数等の情報がない。
- ・短期入所を併設する要件が足かせになっている。

※日中支援型グループホームでは、短期入所の併設が義務付けられている。

- ・地域住民の理解が得られにくい。 等

問8-4 グループホームの運営や障害者の住まいの確保に関する御意見等がございましたら、御自由に回答してください。

(n=56。主な回答を掲載・要約。)

【経営面，資金面に関すること】

- ・ 処遇改善
- ・ 人材が集まらない。
- ・ 令和3年4月の報酬改定によって収益が減少した。  
(利用者の障害支援区分4～6では増，1～3では大幅減となった。また，夜間支援体制加算等が減となった。)
- ・ 加配に対する補助金等を創設してほしい。
- ・ 満床でないときや外泊が多いときの運営上の資金が確保できない。
- ・ 日中サービス支援型又は日中支援加算の要件を緩和してほしい。 等

【施設の整備に関すること】

- ・ 新設や既存の設立に対する助成金や補助金を新設してほしい。
- ・ バリアフリーのための整備補助金を創設してほしい。
- ・ 消防法や建築基準法が事由で新規設置が困難である
- ・ 不動産業者から理解を得られにくい。  
物件提供を行う不動産業者への補助金を創設してほしい。
- ・ 運営に適した一軒家が少なくなっている 又は 設備面が古く大きな改装が必要
- ・ 高齢化が進み，2階を利用したくてもできない利用者が多くなり，グループホームでの受入が難しくなるが増えるのでは。 等

【サービスの提供方法や内容に関すること】

- ・ 外部サービス利用を可能とするなど、弾力的な運営を。
- ・ プライベート空間が保たれるアパートタイプの希望者が多く、コミュニケーション能力が低下しているように思われる。
- ・ 介護保険への円滑な移行、介護保険との連携
- ・ 介護保険適用になる事で利用負担が生じるため、認知症であっても知的障害を押し通そうとする。
- ・ 3障害の特性に対応できる施設整備が必要。支援内容が大きく異なるため、職員の技術・知識の平準化が困難。
- ・ 通院などの付き添い業務も家族の理解が無い場合、職員負担になり通所送迎以外にも時間が割かれる場面が多い。 等

【障害に対する理解、制度理解に関すること】

- ・ 地域住民の理解や協力がより一層得られるよう行政からグループホームの必要性を市民に促していただきたい。
- ・ グループホームを必要としている方に、グループホームの情報が届いていない。
  - ① 障害者であっても、自由な生き方、生活の仕方があることを理解されていない。
  - ② コーディネーターとなる相談支援員の不足（過重労働、低賃金）
- ・ 他業種からの参入の問題  
知識が乏しい→利用者が地域で問題を起こす→不動産業者間に悪い噂が広まる→新規開設の理解を得られない
- ・ 行政職員の制度理解が不足
- ・ 福祉労働のイメージアップも大切
- ・ 地域の反対によって開業を断念しなければならないケースもある。 等

## 【その他】

- ・ユニットが多くあるホームだと部屋の移動がしやすく不快なことを回避しやすい。
- ・グループホームの箇所数は増加しているが、重症心身障害の方の入居受け入れは少ない。
- ・施設の整備がない自治体もある 家族や本人に住居選択の余地が無い。
- ・交替制勤務のなかではICTツールの運用が重要。情報共有等がすすみ、支援の質の向上と、スタッフの負担軽減につながる。
- ・グループホームの利用に期限を付けるような話が出ている。グループホームは自立支援の訓練の場ではなく生活の場ではないか。

（厚生労働省が令和3年11月に開催した「社会保障審議会障害者部会」において、一定期間の中で本人が希望する一人暮らし等の地域生活に向けた支援を行うことを目的とする新たなグループホームのサービスタイプの創設が検討されているもの。）

- ・ホームの外に出て日中活動することが大事
- ・「親亡き後」という言葉を乱用してしまっは障害者は自立できないという前提に置いてしまい権利侵害に当たる。主体は本人でなければならないのに、ものを言う親のためになってしまっているように感じる。
- ・自立生活が可能な入居者をグループホームから単身生活又はシェアハウスへの移行が必要と考えており、共同生活援助と自立生活援助との併用が今後の重点
- ・女性専用のグループホームが少ない。
- ・グループホームはほぼ施設化されてきた感が否めない 入院と変わらない。 等

(参考) 回答様式

指定共同生活援助事業所(グループホーム)の実態調査 回答様式

宮城県保健福祉部障害福祉課

【留意事項】

- 特記がない限り、令和3年12月1日時点の状況について回答してください。
- 事業所ごとに作成してください。
- サービスマニエール管理責任者の方が作成してください。
- 回答欄は着色した部分です。
- 回答先 宮城県保健福祉部障害福祉課企画推進班
- 回答期日 令和3年12月29日(火)令和4年1月11日(火)
- メールアドレス yourukupref.miyagi.1@.jp
- 回答内容については、回答者の許可無く法人名や事業所名等を不特定多数の方に公表することはできません。
- 本調査の実施後、事業所への聞き取り調査などを依頼することがございますので、御了承ください。

基礎情報 問1

法人名（省略せず正式名称を入力）	
事業所名（省略せず正式名称を入力）	
事業所の指定年月（西暦）	〇〇〇〇年〇月
回答者氏名	事業所の所在市町村 電話番号
メールアドレス	

サービスの類型 問2-1

	類型	ホーム数	総定員数	利用者数
介護サービス包括型				
外部サービス利用型				
日中サービス支援型				

問2-2

外部サービス利用型ホームを運営している場合、外部サービスの内容、1週間当たりの利用日数、曜日を回答してください。

外部サービスの内容	
1週間当たりの利用日数	利用している曜日

職員の数 問3

勤務形態	管理者	サービスマニエール管理責任者	世話人	生活支援員	夜間支援従事者(専従)	計
常勤						0
非常勤						0
計	0	0	0	0	0	0

※兼務の場合はそれぞれの職種に計上してください。

利用者数 問4-1

障害の種別ごとに利用者数を回答してください（重複計上可）。

身体障害者	
知的障害者	
精神障害者	
難病等患者	
その他	
計	0

単位：人

問4-2

障害支援区分ごとに利用者数を回答してください。

非該当	
区分1	
区分2	
区分3	
区分4	
区分5	
区分6	
未認定	
計	0

単位：人

問4-3 年齢ごとに利用者数を回答してください。

単位：人

20歳未満	
20代	
30代	
40代	
50代	
60～64歳	
65～74歳	
75歳以上	
計	0

問4-4 入居している期間ごとに利用者数を回答してください。

単位：人

1年未満	
1年以上～3年未満	
3年以上～5年未満	
5年以上～10年未満	
10年以上	
計	0

問4-5 主たる日中活動ごとに利用者数を回答してください。

単位：人

生活介護	
就労移行支援	
就労継続支援A型	
就労継続支援B型	
地域活動支援センター	
一般就労	
通所介護等（介護保険）	
精神科デイケア	
精神科作業療法（外来）	
その他の活動	
グループホームのみ	
計	0

運営状況

問5-1

土日祝日等の日中支援について、該当するいずれか1を入かしてください。	
生活支援員等を配置し、支援を行っている	
生活支援員等を配置しておらず、支援を行っていない	

問5-2

ホームヘルプ、訪問看護の利用者数を回答してください。		
利用している	ホーム数	利用者数
利用していない		

問5-3

問5-2で「利用している」を選択した場合、利用しているサービスの内訳を回答してください（重複計上可）。

単位：人

身体介護	
家事援助	
通院介助	
重度訪問介護	
行動援護	
移動支援	
重度障害者等包括支援	
精神科訪問看護	

問5-4

次の報酬加算の取得状況について、**それぞれ**該当するいずねかに1を入力してください。

加算の名称	取得している	取得していない	
		取得を検討している	取得を検討していない
重度障害者支援加算（Ⅰ）			
重度障害者支援加算（Ⅱ）			
医療的ケア対応支援加算			
強度行動障害者体験利用加算			
夜間支援等体制加算			

回答漏れに御注意ください

※問6-1から問7-5までは、平成30年4月1日から令和3年3月31日までの状況について回答してください。

問6-1 退去者数について、退去後の生活の場ごとに回答してください。

単位：人

自宅（家族と同居）	
自宅（1人暮らしやパートナーと同居）	
宿泊型自立訓練	
他の共同生活援助	
福祉ホーム・地域移行支援型ホーム	
障害者支援施設	
入所施設（施設入所支援）	
病院	
刑務所等矯正施設	
児童養護施設・児童自立支援施設・児童相談所（一時保護）	
特別養護老人ホーム・老人保健施設	
介護保険グループホーム	
死亡	
その他	
計	0

問6-2

退去者数について、障害の種類ごとに回答してください（重複計上可）。

単位：人

身体障害者	
知的障害者	
精神障害者	
難病等患者	
その他	
計	0

問6-3

退去者数について、入居していた期間ごとに回答してください。

単位：人

1年未満	
1年以上～3年未満	
3年以上～5年未満	
5年以上～10年未満	
10年以上	
計	0

問6-4

入居者がグループホームでの生活を希望していたにもかかわらず退去した事例の有無について、該当するいずねかに1を入力してください。

※死亡による退去は除きます。

退去した事例があった	
退去した事例はなかった	

問6-5

問6-4で「退去した事例があった」を選択した場合、退去した理由等について回答してください。

※事例が複数ある場合は、主な事例について最大3つまで回答してください。

退去した理由 (該当するいづれかに1を入力でください)	事例1	事例2	事例3
疾病・事故			
認知症			
加齢に伴う身体機能の低下			
障害の重度化			
家族・親族の意志			
反社会的行動			
行動障害			
人間関係の不和			
収入の低下等経済問題			
消防法適合のため			
共同生活住居の閉鎖			
その他（具体的に回答）			
退去後の生活の場はどこでしたか (該当するいづれかに1を入力でください)	自宅（家族と同居）		
	自宅（1人暮らしやパートナーと同居）		
	宿泊型自立訓練		
	他の共同生活援助		
	福祉ホーム・地域移行支援型ホーム		
	障害者支援施設		
	入所施設（施設入所支援）		
	病院		
	刑務所等矯正施設		
	児童養護施設・児童自立支援施設・児童相談所（一時保護）		
	特別養護老人ホーム・老人保健施設		
	介護保険グループホーム		
	その他		
どのような支援や施策、条件等があれば入居を続けることができましたか			

新規入居者の状況

問7-1

新規入居者数について、入居前の生活の場ごとに回答してください。

	単位：人
自宅（家族と同居）	
自宅（1人暮らしやパートナーと同居）	
宿泊型自立訓練	
他の共同生活援助	
福祉ホーム・地域移行支援型ホーム	
障害者支援施設	
入所施設（施設入所支援）	
病院	
刑務所等矯正施設	
児童養護施設・児童自立支援施設・児童相談所（一時保護）	
その他	
計	0

問7-2

新規入居者数について、主にとどのような関係者からグループホームの利用につながったのか、関係者ごとに回答してください。

	単位：人
病院	からつながった
相談支援事業所	からつながった
他の障害福祉サービス事業所	からつながった
障害児入所施設	からつながった
家族	からつながった
特別支援学校	からつながった
市町村	からつながった
その他の関係者	からつながった
利用者自身	でつながった
計	0

問7-3

入居希望者が入居に至らなかった理由について、該当する全てに1を入札してください。

空室がないため	
他の入居者との相性が合わないため	
入居希望者の家族・親族が反対したため	
平均区分が上がりスリリングラワーが必要になるため	
対象としている障害種別と異なるため	
医療的ケアに対応できないため	
他書のおそれがあるため	
支援の専門性が不足しているため	
支援の人手が不足しているため	
特に夜間支援の人手が不足しているため	
バリアフリーではないため	
65歳以上であるため	
成年後見人（補助人、保佐人を含む）がないため	
行動障害に対応できないため	
家族・親族がおらず身元保証人がいないため	
その他（具体的に回答）	
入居に至らなかった事例はない	

問7-4

特に入居が難しいとされる障害者を受け入れた実績の有無について、**それぞれ**該当するいずれかに1を入札してください。

強度行動障害を有する障害者※	実績があった	実績がなかった
医療的ケアが必要な障害者		

※本調査では、障害支援区分が4以上で、行動関連項目の点数が10点以上の方をいいます（問7-5も同）。

問7-5

特に入居が難しいとされる障害者の受け入れに関する課題等について回答してください。

※実績がない場合も回答してください。

	受け入れに関する課題	どのような支援や施策、条件等があれば受け入れが進むと思いますか
強度行動障害を有する障害者		
医療的ケアが必要な障害者		

その他

問8-1

グループホームを運営する上での問題点について、該当する全てに1を入力してください。

経営（収支）が苦しく、人材の確保・定着が難しい	
新規入居者の確保が難しい	
入居希望者は多いが、新規開設が困難	
支援従事者の支援業務に関する知識や技術が不足している	
支援従事者の支援業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	
管理者の指導・管理能力が不足している	
教育・研修の時間が十分に取れない	
支援従事者間のコミュニケーションが不足している	
経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	
他事業所（通所支援等）との連携がうまくできていない	
入居者やその家族のグループホームに対する理解が不足している	
障害者福祉サービスの制度改正等についての的確な情報や説明が得られない	
共同生活援助サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	
事業所では解決できない課題を提起、検討、解決していく仕組みがない	
雇用管理等についての情報や指導が不足している	
消防法や建築基準法に適合するための費用負担が大きすぎる	
その他（具体的に回答）	
特に問題はない	

問8-2

重度化・高齢化した障害者に対し、地域移行を進めるため、国では、日中サービス支援型のグループホームで常時の支援体制を確保することを推進しています。

日中サービス支援型のグループホームを新設する予定の有無について、該当するいずれかに1を入力してください。

予定がある	
予定はないが、今後新設することを検討している	
予定はない（検討したこともない）	
検討したことはあるが、実施に向けては課題があり、断念した。	

問8-3

日中サービス支援型のグループホームを新設するに当たったつての問題点について、該当する全てに1を入力してください。

※問8-2で「予定はない」、「予定はないが、今後新設することを検討している」を選択した場合も回答してください。

現在の障害福祉サービス等報酬では採算が厳しい	
サービス提供に必要な医療機関等関係者との連携体制の構築が難しい	
サービスを提供する上で必要な人材の確保・定着が難しい	
入居希望者は多いが、適切なサービス提供ができるかどうか不安である	
支援従事者の支援業務に関する知識や技術が不足している	
管理者の指導・管理能力が不足している	
入居者やその家族のグループホームに対する理解が不足している	
その他（具体的に回答）	
特に問題はない	

問8-4

グループホームの運営や障害者の住まいの確保に関する御意見等がございましたら、御自由に回答してください。

回答項目は以上です。御協力いただきありがとうございました。